

—— 競技上の注意 ——

1. 競技は 2025 年度(公財)日本バレーボール協会の定める 6 人制バレーボール競技規則、および小学生バレーボールフリー位置制 21 点ラリーポイント競技規則で行います。
 - ① 女子の予選リーグ及び親善トーナメントは、2 セットマッチ(デュースなし)で行い、決勝トーナメントは、3 セットマッチ(デュースあり)で行います。
 - ② 男子・混合は、全試合、3 セットマッチ(デュースあり)で行います。
 - ③ 全試合、テクニカルタイムアウト(1 セット 1 回)を採用します。
2. 試合間は全試合 5 分とします。
3. コートに入ったら、(プロトコール前に)速やかにスタートイングライナップシートを記録席へ提出してください。
4. 公式練習は、各チーム 1 試合目のみの 3 分間とします。ただし両チーム合意の場合は、6 分間の合同練習とします。各チーム 2 試合目以降は、6 本程度の乱打を行ってください。
5. 監督・コーチ・マネージャーは、必ず左胸部に規定のマークをつけてください。また、チームスタッフの服装は、必ずチームで統一されたものを着用して下さい。
6. 女子の予選通過順位は、各リーグ戦での試合を合計して、下記の順で決定します。
親善トーナメントの勝敗も、下記の順で決定します。
 - ①セット率
 - ②得点率
 - ③抽選(両チーム 5 名ずつでの同時ジャンケン)
男子・混合の予選通過順位は、各リーグ戦での試合を合計して、下記の順で決定します。
 - ①勝率
 - ②セット率
 - ③得点率
 - ④抽選(両チーム 5 名ずつでの同時ジャンケン)
7. 試合球は、女子をミカサ、男子・混合をモルテンとします。
8. メガホンの使用は、西部地区体育館の 2 階からの応援時に限ります。ただし、通常サイズのメガホンのみです。

—— 審判上の注意 ——

1. ベンチスタッフ・選手ともに競技規則に精通し、競技規則を忠実に守ってください。
2. 審判は相互審判です。各チームで審判に従事してください。
3. 主審・副審は、必ず大人が行ってください。
4. タイムアウトの要求は、必ず公式のハンドシグナルを明確に示して要求してください。
5. ホイッスルは、A・C・E・G のコートを長笛、B・D・F・H のコートを短笛とします。
6. 線審は各チームのフラッグを使用してください。